

2012年3月30日

株式会社電通
株式会社オレンジページ

電通とオレンジページ、生活者参加型農業で食と農業を考える共同プロジェクト
「オレンジページ畑プロジェクト」を開始
～活動第一弾として、信州上田の耕作放棄地を復元して大豆を生産～

株式会社電通（社長・石井直）と株式会社オレンジページ（社長・小倉厚子）は、一般生活者が農業の現場に参加することを核とした「オレンジページ畑プロジェクト」を、2012年4月より開始します。

プロジェクトのテーマは「オレンジページ畑から、ていねいな暮らしをはじめよう」。取り組み第一弾は、信州上田市にある耕作放棄地を畑に復元しての大豆作り。一般生活者が農家と共に大豆を育て、収穫し、豆腐やみそ作りにも取り組みます。

一般生活者に対しては4月2日発売の雑誌オレンジページ誌上などにてプロジェクト参加募集告知が行われます。希望者は一定の参加費を払うことでプロジェクトメンバーとなり、数回の農作業体験や食品加工体験に参加でき、一定量の農作物や加工品を入手できます。

農作業の全体的な遂行責任は契約農家が担います。農家にとっては、最終消費者と直接の接点を持つことや雑誌メディア等で紹介されることによって販促・宣伝面でメリットが得られるプロジェクトです。

オレンジページが、一般生活者が参加する各種農業体験プログラムを考案し実施運営します。現在オレンジページが最も得意とするのは料理のレシピ提案の世界ですが、ここからさらに食の源流に遡り食材作りの体験の場を作ることで、「食」の分野の「ていねいな暮らし」についての考え方を深め一般生活者と共有していくのが本プロジェクトの狙いです。

一方電通は、このプロジェクトへの一般企業の参加形態を考えていきます。畑を起点に食材が生活者に届くまでの各局面で得られる生活者知見を企業のコミュニケーション活動に活かしていきます。また今後は電通の持つネットワークを活用し、農業関連団体などとの連携で本プロジェクトの趣旨にご賛同いただける農家の輪を広げ、展開地や展開作物の拡大を模索していきます。

本プロジェクトの第一弾となる今回は、長野県上田市の全面的な協力のもと耕作放棄地の復元を行いました。その「オレンジページ畑」第一号地の運営・管理は“信州ファーム萩原”との契約が決定しております。

本プロジェクトは中長期的にはさらなる立体的発展を目指し、市販する農加工商品の開発や流通・外食などの分野への広がりも視野に入れます。また、農業に携わる皆さまへのオリジナリティ溢れる各種支援策も構想していき、日本の農業の活性化の一助となることを目指します。

【オレンジページ畑一号地・概要】

■ 立地：長野県上田市真田町長

（長野新幹線 上田駅から車で 20 分。上信越自動車道 上田菅平 IC から 10 分）

面積：約 1000 坪

■ 管理運営：信州ファーム萩原による年間管理

社名 有限会社信州ファーム萩原 (<http://shinshu-farm.com/>)

代表 代表取締役 萩原 慎一郎

所在地 〒389-0406 長野県東御市八重原 723

TEL 0268-61-6111

事業内容 農産物の生産、加工、販売

農業作業の代行、請負、委託

農業体験研修の企画、実施

【プロジェクト概要】

■ ツアー事業：「大豆の種まき&農家ごはん」「枝豆収穫&ざる豆腐づくり体験」「大豆収穫&みそ仕込み体験」

■ 商品開発事業：収穫された大豆を使った商品開発および販売（みそ、soy プディングなど）

■ コンテンツ事業：「オレンジページ畑」の定点観測コンテンツの掲出、大豆の栄養価訴求ページの掲出

■ マーケティング事業：「オレンジページ畑」の事業展開を基軸とした生活者のニーズの把握や企業各社への各種ソリューション提案の実施

【ロゴ案】

ていねいな暮らしをはじめよう

オレンジページ火田

【本件に関する問い合わせ先】

■ リリースに関する問い合わせ先

株式会社 電通

コーポレート・コミュニケーション局

広報部（担当：斎藤）

Tel:03-6216-8041

■ 内容に関する問い合わせ先

株式会社 オレンジページ

ニューメディアクリエイション部

（担当：姜[カン]、井坂）

Tel:03-5227-5806

株式会社 電通

雑誌局雑誌2部（担当：内田、有井）

Tel:03-6216-8339